岷江入楚

柏木

才五

特別
ヘ 12
4604
35

45
712
4604
35

宮内省図書寮

柏木

宇治の歳　自文二歳

正月朱雀院病重し

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏の宮れうとうの後いんるもし
いかゝるもしらめるハ
永訣の後ハ人の作り物語りもし
らんしいとかりもうるさ　手妙しき
秘妙なる後ハ源氏ハ
なりもうれもうく
秘行間くもあるべくあれもし
桜もしらぬ　源河桜ものハ夢もうるハ
月世分　幸　秋ハ
かりうよハ
ヒハうもうるもうもて作り
秘　小倉百人一の文　関世之文ノ文ノ詞
秘世之一の文ぬ
るもうもうもうもうもうもう
秘　病之の風し

桜木
いかもうもうん桜
むもうるかりん桜
し世もうもうるもうく
秘　詠雪の桜もし世
関　ものハ清ハ
あるもうもうの桜
小倉百人一の文　冥暗の光世
倉百人一の文世
桜木のもうもの
倉百人一の文
倉百人一の文
倉百人一の文
倉百人一の文
なるけるもう
世之ものもし
秘　光世初しを
もうもうハもうの
人の世と光もうもて
関　光世今し

世之の為と云ふ事を云ふ世を捨て全身の
あらはれ[illegible]
世之のほとくつやうるとあるね
松の花 関の花を
ほつつやうるねとくしうねん
るつけるへの　松ほを
るくくよるるねの
ほのるくるのめるもし
しこるもつね
柏木のくほをしし
るくく
文るくし
るくるるる
葛城山　たれ　七るる山の甚つし
或物語に後若小角住於葛城山神使鬼神役
水採薪若不用命即以呪傳之

文武天皇代人　追世事元
人つるるるるなるる
故住吉るるのるくあるる孫をるとるるる
るるくるるるる
るのもしつる
るれる柏木のるるしのるほとかくるるほるる
ほのるるるるるるるるるるるるの地元
るのもしつる
るくくのて射面しるるるるるるるるる射面
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるるるるるるる

病の人〻ていてくらう

時平ハ三男藤中納言天慶六年三月七日薨ス　彼病悩
乃時十二歳の若き軍　比羅とゝ世てゝ
とゆゝて後入給ふ
相国中ハ藤原ノ兄八條大納言保実ノ子大納言の隠し
みゝ仕て勤く　甚と世まての果ハ大納言の隠し
そゝ者と子孫の偏〻めでいと保実ノ
相国と保実ハ三ゝ

相国の行給ふ所ハ殊ハ行給ふ
地ゝ
つゝ
ねゝ相国と行給ふ
ゝ
ゝ
ゝ

ゝ
相国の現し文ゝの初と世く小行給しゝ
ゝ
行給ふ
世ゝの
身ゝ
伊勢物語ゝ
ゝ
ゝ

尼あまをとまつりし

あやまちしるきし　をの雨の庭ものもなくし

思てあやまちよあるに

ものの名もうつれ

をのもとひとめのくよ

月けい　英松をし

むもひとめのくよ

うるあまち出ふ　むのるんうふくみ　ふむむもむ

関松寺をし

らもうりやせめつ

柳木のめとの四ふ　ふとうん

いとさくよこの四ゆよ

あれるし

ふれ世ふうをふくく

一念とを印し

ふくく世のゆふくし

手　世をの御ふくめ　ふとし

松一念五百生繋念を量初んに

ふくくふ　ふ御ゆと

弄懐恨のゆく平あるとしふとし

ふ猫のゆ　手

ふ養とふゆふし

河見若菜寒下

うゆとうをそろうう

世をの御ふ見ふそろ

あゆ神くいえのを

小侍従のふし

四ふりふ行ゆ

四ふの四ゆ月し

ふくくうをしるいて

文ノ初　東門響の病躰と

とあるゆ　ゆ第五世とを

うをしるふいをゆとを

ふとし小侍従ふくく

ふくくうをしるいてふふりのをんとある

しふりのをゆとを

ゆ乗ふ　ゆ乗ふ　今乗ふ

とあるゆ　ゆ第五世とを

うをしるふいをゆとを

[illegible]の柏木の今ごろ枝やあらんとあるとうけたる
[illegible]けり[illegible]ばかりなる[illegible]
[illegible]て[illegible]皆文の詞より
平
世を[illegible]文の因しかいふねまいらせとも
柏木の病[illegible]
[illegible]
双紙の[illegible]文の詞
けれ[illegible]詞双紙[illegible]
[illegible]柏木[illegible]
[illegible]
因
[illegible]義私[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
私[illegible]系 私の今業 天圓の系西白
又私[illegible]
[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]中に推量[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
私柏の紙[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

必 又さつりとゝ[illegible]
初のほゝとする
あやしき者の詠のやうふる
行 蒼頡観鳥跡作文字史記
帝王世記曰倉頡又取像鳥跡作文字史官之化
蓋自此始 [illegible] 共言行 [illegible] 東而蔵之名曰書契
[illegible] 仰く忘るゝ [illegible] の恨と [illegible]
[illegible]

紅葉

必 [illegible]
因 [illegible] 恨の時
[illegible]
日ヲモ烟タチヌメリトテ [illegible] 多ク [illegible]
人絶し大ふ恨とる [illegible] 人モイク程しけ今古行
とあるこゝさせ行ん人めなり
[illegible]

うゝみゝうて
[illegible]
[illegible]
小侍従よかへ [illegible] 柏のそもと
必 [illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]
侍従の [illegible]
[illegible]
必 柏木の詞
その [illegible]
必 御座ノ [illegible]

河無朝 秘

[illegible]

[illegible]

[illegible]

源氏のとろふし　給て人の[illegible]たちとて陣[illegible]

[illegible]入[illegible]ふし

むまれぬる

蓋　從生し　寄

いらつるたふつさ

柏木ようく似てうとし

[illegible]の男君[illegible]源氏

[illegible]　[illegible]

男子[illegible]

源の[illegible]

[illegible]

源の[illegible]

[illegible]

[illegible]

文つらき大夫うり
河内守 中務職
院の殿上人
内うり
ちしのかく
柏木の不労死に大うの祝家ふうとかさるもとし
ゆるるしいるとハ
御格ハるしとし
文ハふうりしいるる
ゆハ女とんゆとるもうり
さるれしつそ
むつしけよふいるるく
下んハすしくるめ
ゆるとゆのうりうんもし給ゐし
にふうしますと
似ふうしまするほよふるつらね人のうるるんし又

私中務大夫し平
大夫 亮 進 以下
又 冷泉院し
今上し

四しうまてよふうしまるとうまつうめ行
るみゆ
さのうこ
又 文のうる再し
ちうのうこうしゆのうおうしまるとうまつふとうの国
ゆしくゆのつとゆ家ゆうるるうこと
世中のうるるうこと
又 源の紐
ゆうるふしうんうら
廣不うとハ祖むつしうまあれふるうしるとよるう
うるるうくしうしるるのしし
又 文の四国
ゆえいいうさうるるのしさ
うるる人ハつうとりんうるる
産ゆうるうて死ゆる
うれしやいうとまる
名家の功徳ていうしやうんとし
うるるうまゆ
うせ給て勾坊のまとし

つ林の御けいこうハ
ねをうしなさ侍のつぎ
いとゝゝてゆしき
うしまゆふさのこゝろ
御ん心のゝちまハ
はゝ君ゆゑ源ゝ侍ゝ
んをうしなひん
女ゝ女ゝの源氏ゝんをうら
ねゝしハ源ゝゝゝ
ゆゝ
とゝ人のゝとゝ
女ゝの女ゝをゝ侍ゝ
又ゝハゝゝ
院ゝ
仕つゝゝ
ゝゝ

女ゝの女ゝの侍ゝ
ゝ
ゝ

わらはの院　源し

世中とうつりすたれ　又朱雀院の少納
たりのまちなりて　因光女不定なれば　左兵衛尉定女不定
れ世のそしり

当時の人のそしりまさしく
しやうしくしらせまうしあり

朱雀の院生安とは源のうらやましく思ふとて　弄侯ろとす
うらひのまへ　和源ノ納

御子のまへ

女三のみかどの院性ノ宮ハ朱雀ノ院座とあり
えりとうつろい

女三ものいひつく人こゝろいたすけて四十の
ゆうの下へうつり申し　朱雀　又院御納
ものうちのそしり

夜居　加持僧

まうしつくりの　河驗付　寛平法皇　加持あり

うらかなつるしくかりし
因弱者なれやよわ加持のうらはあてんりてるう
のれんりとさみうしんしとれとし
うらもつてうらはけし

女三のうはし生つく母あり孫ハ生尼ありうこうしと朱
雀　又ハ　なるし

さる御かいわい
松くまとうさい人ハ

又
切まとうれわいハ
松今と今のれうこうりうこまりまてハ朱雀の院
切まとくうこうこまりまてハ朱雀の院
なるこのまとうこうんすこ

源氏　女三のれ中と朱雀　れ作うこし
河
源氏院号　後し　美
うこ多くあうこ　世房るれ　日朱ロ　戸つけるまは
うこうれ殿のれ　古物院の中うこうのれ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

四ゝ[illegible]ゝ姫[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ

四ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]ゝ[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

みてれば行くゑのまもなくあるまじき朱雀院の人々
をとゝ楽してのゝしりよりあめとのゝひるまをもう
ばらるゝ朱雀ノ帝ゆゑ院ノ御ものけいとなりて行後夜
ごろやのゝしりよりのものけいとなりて行後夜 加持
河御昌日の御夏ゑ人ひとりとゝかうしりとゝ業とゝ
まとゝふゝ

かゝることゝもうへしけりと
必業とゝとつゝ
手業とゝうなをとゝ後ゝまゝ 六条御息所の霊し
いとゝうるうるんとゝてゝうるうる
河 京花物流ゝ六条御息所女 乃物乳ゝて 御堂御女久
くゝつゝゝ後ゝてゝそゝゝゝゝゝ後ゝゝ乳 時邪気人
よつゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ふゝゝみゝゝけゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
いとゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
女ゝノゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝのけゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

必父母ゆゑ[illegible]

[illegible]

[illegible]

必系図[illegible]

[illegible]

[illegible]

必かく往古物語よりはじめてあるかぎりとりあつめ
あるべきことなり

大將去
年号寄事 或年号大將 但美菜上見
工夫九ん私ごと年 私ごとなるべし

御ことなしも
必昇とと賀せるもし
それかはりたいのりとるものみと萬車
是も昇とと賀せる人のつもりなるべしとおもはれつゝ
よろこばるべきあるべしも

柏木病のたりさまゆゆし
なもしきかなしき
命のあるつゝうくき物
みたれのうへぬいたんし侍べく

柏木の年は弥たゝ対面なるべくく遠孫子をたゞ
とあるべき病ともなるべくく対面しかるべき故とて遠孫子との対面
年ぬんちくくすべく対面しかるべくとも
河
栄花物語宴田多の病の中に関白のなり侍るべく
ひとり小年ことなるべくこゝろもとなくなりて
いとたもつまり侍べく姫君対面あるべくみたん
らんあるべく侍べくとふらせ給へかくてゆく侍べく
毎日ものさはがしきつもりくと人のこゝろもとひと
しるく侍べくれとさはるべくもあるべくとひと
うえと侍べくてうんいとはかくなくなりて侍べく
ろ和よ侍べて大小事もと合せんと思侍べくとも
かく決定べくつき言は業内とつるとやうの孫
とと聞べくつかれいてきはしるべくもまた風
のみとれあるべくもみてれ侍べくいろも
あるべくてきべくかよろこべくもみ人とみ侍べくの
不定べくなり侍べく

病中の任官辞るゝ客人に對面

幼かりし　柏夕雪申し

親類らしと大切なるし

夕雪の人々

なるとくるのりけるくふ

夕雪の羽　幸

きふかるゆゆしうるしい

貧の仮ゝんらとうんと夕雪乃言ふとうるさ

とるもくし

いとくるしう

柏木ノ羽

点ずしくう

白衣ふるく鳥悩ふいうるうし

るもしのもうち柏さうけよ

病中よりうれ月元三可特し　河　髓　荘子

やせさうるしいうし

幸　抜しうる　髓

しいうるうし猛つ京

夕雪の羽

とうしさきこいてうくとうて

白京　忠の度りうれうる世申ふ　和　柏　髓　河　荘子　酒伝

和　柏　髓　河　荘子

何ゆうてとりのゆと

病のさ度とうたしうるねとし

ふうのいたりくるゆうう免し

柏木の羽

月日もつうでうう侍うよゆれ

祈もなくるゆしまうふくうるうるとし

いまはうつんと　河　丸つ

いのち死なんとせしかども
形骸を願なしまゐ命ハ
ながらへ侍しかども
ながらへるとも
ふるふる世乃　ふれば人さらぬ死ハ多しとも
ふるるにはあらぬ世乃
やもつつまるるこゝろ
父母ふるにたゝて孝りと
孤勾然欲とかく孫ハ
ものしる
ものつゝまるるまもなるの孫
五十と強仕と孔子ハ
年ハ丈ないの孫
何ハ流ゝつゝまるる
身をつゝまるる
私ハ世間を身のるるし
史孝姫於事親中於事君終於立身　同家明義章第一

世人をのつゝみるる
天人乃ふる
是ふる柏木ハ源のし
何乃ハ
今ハ
ハよ中くとふるしと
ふれ
柏木ハ
ものすれと
ふるしくしかるに
ふるしくしかるに
ふるしくしかるに

いと世間はなりにくへんゆゑも
なほんなほそうとわすしいとこと
人ともこそはかりしつれさうもせ
四位人ともと
いとるはけもどんなれ
河詩言　平松
ろるのられは世のさはらけ
今生ことのはもそれは勾偏後世ふうしもる
しとし
あるこめはさせ給へ
夕雲は位はしはさ給へとし
なりんうもろも
死ん後ことし
ふれこじゆるれしこん
河芳師　動
人のこしはかりいわるする

夕雲はの人えるこ女之の懐妊なれすまてハ
中くつらこそしいるるはこのあるこうは
ふ夕雲の刻
かくとりめへはらしと
柏木先急の脈を位もるけさのとし
るこうかりそしあるこ
位はの急飯りるさはるこ柏のんぶ了す
あくふくの絵ふらしこと左大方ことハ子絵
こうへはかりうる
位はのこ子へ病のかりこと柏のあ面
夕雲のあて後悔はこ
まはいこしまりつる
四柏木北羽　平
久ありそこやいこるこ命はこと
河伊八
つのはゆく道とかなて関しこはもとはこと

今日不云弘明日不云何故造作栖安元帝身雪嶌
和讃をかき変者し　美秋門院モナシ図ニハアリ　唱日
御ゆらいくわん
源氏ハうれんりうハ猛くうとくハ今をし
一条よりのもの文
流すとしてさうしうれし
朱雀院の事
生さを猛ひねとてうきさして
手繰し　柏のゆとハいとそひまねをしらし
ゆうゆうゆうゆうし
ゆくゆくして猛ひね
名香のうつりもしうし
御ゆとハさうしうし
柏木のいりーと　冷泉院御
大将のいろ　弘徽殿

雲ハ乃ゆうり　平
右乃大殿のふのろ
梅思ひ宝　ゆうり
やむくゆうゆう絲
河ゆれしてゆみね人ゆゆ病ゆ乳ふゆ
平　和竹下祝初花
世ゆうしたハ乃ゆうい絶ゆ
ゆ浮世ゆ
あゆれしいゆ下して
柏木の紙ゆ
河世皆不穿固　如水陳泡焰　法花経
幻世春来夢　浮世水上泡　白氏文集
ゆゆゆゆゆの
元　ゆして世二ゆれ
ゆ柏木と世二ゆれ中の
ゆゆゆゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

御いとまもいまゝせ給りんとて　行　六十日餅

行　大殿之処義北山殿時そうし　村上みこと　生子　侍つる御五

十日の餅を人てゝさせ給へるゝ　伊衡中将の歌つゝ

ゝりゝ行つゝとゝてゝ　ほゆゝ

ゝゝせよと　歌かゝゝ

御ゝゝみゝゝ　せ　ゝ　侍

いゝゝゝ

[illegible]

本下とひきたりてゆ[illegible]

源のうた

[illegible]

[illegible]

世[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

今拾文紀 聽色とやとなれてあしおとうと

[illegible]

水[illegible]

[illegible]上[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

いまはとてゐるれば
必かく后よりの給ふて源と一向よりたるれ給ふと
御心といとしたて
源をいとしたてん為はなを御生家をこの
くらうとしたてしとし
かゝる所の人ハ
必この御剃し世をそなきつゝ多るれとし
かひしりのとやゐりしとゐるも
必源ノ剃　柏木ノ中ハ
あるれのうちくるさ世よ
必源の若者ゐれをし　肪恒ゐまさゝ伝ゐしいろん
竹の子ゐきゐ　ちをきい世とゐたやのゐり
私を横笛ゐ者ゐ　ちよのたんゐとゐてゐるふゐ
大将ゐれちこゐし
多者のゐれしらゐ

薬師乃御ゐ
必明石女御ゐのこのゐ　寺
ゐけつゐ
河王氣竹或王氣ゐ
必王相ゐ
ゐゐ
必柳木ゐ
ゐれとねのゐ
河脉子　遊　伝慶　又所腰　横笛　脉尾ゐ
必脉ノ中ノ寺
世をのこのハ御ん
源ノ人中ハゐ
ゐといこ
ゐれ
ゐ日の祝し
ちりよりゐけくゐんゐ
必樂天ゐ向し　河海ゐ

河 五十八前方自後彈恩堪喜亦堪晓、持盃祝願之
他語慎句懇恩似如命 白氏文集 自嘲詩
樂天八子なくして老よのろむ人人五十八にして妖男
子とせんむまれしかとうらやましく生涯と身ずれ
よ向ひく後はもの詩 源氏宇八にて薫ものとすき
しかとナ九於ものとあるもの偏伝し
伊行尺云彩ものいてふたんとかをて白氏文集の中
身行尺云賦一長恨歌 室麿とうかとおもう
五十八とをとをとうすてうう
必 源氏宇八歳
弄 東天の詩河海よみくう源氏宇年とうう
いとあるれ
ほのかに中し
汝うらくよくいとあまう
弄 東天の句と同て梅木のまとぶよの孤つる董子対
して文よ似るまとし

必 東天の句沈りて梅木れまとよの孤つる董子対
て実文に似ることるるる
一ふしけるうるる風とうるとうるけ物風の中てあすまれとし
うれまれんうれる
必 めとと梅木の蝶し弄
ふうりいえ六 ほのうえいをうるうんしこのとうて男くあうるるやいりあうん
必 うるうる先ていうは女の叫ぶうるしとえ源のいしてし孤梅
弄 源氏宇ものとうとうはいるうるうるう

[illegible]

柏木殿御事のあとの御のろかなる

人々にて[illegible]

必御祝[illegible]

[illegible]人をいうこの[illegible]や

必源の翁

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

世之御さぶ

[illegible]

必源もとりと[illegible]

[illegible]

必[illegible]乃御人々柏木とハいてゝ[illegible]すんと源ノ[illegible]

[illegible]

手

世之[illegible]

大將殿ハ

必[illegible]

[illegible]

手

柏木[illegible]

[illegible]

朱朝[illegible]

[illegible]

必柏木の連枝

世[illegible]

必[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
柏木にて[illegible]人々の[illegible]時[illegible]
[illegible]
行大殿[illegible]相撲節の[illegible]に備[illegible]作[illegible]九
月[illegible]九日の節[illegible]
其日左右の陣のふ[illegible]
[illegible]
る弩のわりし
[illegible]
[illegible]馬屋の長弩[illegible]
[illegible]
かやうの時は[illegible]
[illegible]
[illegible]人の[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

あ[illegible]
[illegible]人々のいつ[illegible]
故爲は柏木をとりいつる[illegible]
大將[illegible]
[illegible]
[illegible]

必一条ゑもんまさと遺言をあらつてす
れものとめうこれ世をれと
必ゑれと人とまりぬ世をれと京分のあんかをうて
ひをゑ戸（しとと）
ゑうれさきくいりとれ京ごらめ
柏木のさきうちう者れとゑれうれとと
弥日記 神経
弥
必二月八弥ゆるとしけ京此し寅二月年中行事記
しらるうゑる中くし
立るうゑ京ゑんといふくとを此りまうるとし
ゑやとれ道の
寅院や女二ゑれ山人中
うゑ御ゑうゑ
必文書の中
なつていうゑ函めてう
午者の柏朝し

あゑれなることは
必御息不因し寅二五常のゑうひと云ゑ函すとし
したりゆゑ人
御やゑ京のけゑ分まとて
ゑゑよゑうゑしてゑゑ
必ゑ京ゑの御ゑ函
いまりてゑゑへゑ
御息不の命ゑうれとし
ゑかゑゑ
寅柏木ゑゑと文必ゑ（ゑゑまゑ）ゑやゑくゑのゑとし
ゑのゑゑちゑれゑうゑい
必柏木と午者ゑとて寅
ゑ先ゑゑうけひゑい京ゑしまと
必ゑ京ゑと柏木ゑあゑ御ゑ御午ゑゑうゑりゑと
寅柏木ゑゑ京ゑ函ゑゑし
柏木ゑ京ゑ御息不ゑ京ゑりゑとあゑ此決代初ゑ

みぐらうこハれ息不ノ義引るるにあとのあて
みけいこのんをきて　秘伝息不ノんくとよハぬるやと侍義
後代然切ことのよ〳〵　紫雀も四日ん〳〵こくハ秋ら家り
及ねるこ〳〵しと云て　後ろハ四息不と日ん戸をとし
みつ〳〵のんのりこうんつ〳〵
ゆいまちとんつ〳〵ひとあとさんする地ととし事
これ〳〵
これとくるせきつきとかゆるこ〳〵ゆあるとし事
みこしこハ　ゆこ〳〵みこしこハあるこうこハ後ろさなるこ
ものまゆ後と云こる音ん〳〵まをしハこうこと
いけこと
ゆ中こ〳〵ゆし
何ハこうるにねてこ
ひこのつこそよむ〳〵こ家東地こ後ひてこ
こねまこと林図とこ家し
所こうこひこ〳〵

ゆ久方ノ宮ノ行事今ハ今ハめしけ侍人〳〵てこりた
つるものとみこうこり事
さこハこ所ちこり
花故京白梅と二文字の所中ハ人〳〵こ見こ
といまはのこりよこ文の所あるこ後こ
後へこ〳〵こ侍ものこ
所息所こ紀後つ
ゆ梅木存生の時ハけこめとこれ後ハあこ
こ人〳〵こ後つ
うこ侍こ
ものこうこ
私ハ川こ
あ
ゆ久方ノ初号梅木ノ性と云
こよこ
ゆ梅木の性と云

かるべくてや
早世あんとそのまゝとゝ合まるとし
あまり世はとりとゝ学しつ
花咲れいつとなく初ゝるかゝみし世間のあるとふ
うくるけさ後つとゝ初しまみもぞ八法
よろゝ秋ゝるんし
又 仁常ノ道理ゝて世間の栄よんとゝねんとし
すゝゝるゝゝゝゝあんうつくしゝゝそゝゝ不及し
ゝとかくゝ初ゝゝゝゝゝ墨縄のゝし一筋よ
水京物ゝ大ゝるんし
業くゝ又ゝゝゝゝゝ大ゝるゝゝよいゝゝ
ゝゝゝゝゝあゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝし
かゝてゝゝあゝゝゝゝかゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

又柏木ハ先帝より寵愛の兄し弁
なりし間（ゴロウヲシ）只イツトセムトセトヨムヘシ元但イツレニテモ
（けぶミニ三年トアリ月前ニ）
あいだ れし
行なりしいるとるけいとてあ
るれいとまくよるる
久重し 健（スケカ） 拙つるたんる
るくしき
弁男くしきしあ
ちしいうりて
ホ多の和 人あることしいうハ是ることよさけ
いあくしきすらなれハ
弁先帝ムよ女二宮と弱人ることるとてあしをしたんし
されいあいんすらの行つり関
あむうんとて
又ホるしいうハの弁いあくしき故ぶんしうへのと等
のハ為ホを今ホるるとりてあいうるすといつるあ

行
ンとるふうるいうりとあし
まるるるをるるうハるあひうんとハのらあうう
れ山五首の月弁祓物一月よ我ることるるとし
ういの弁ハムるうしるあつるうるいあし
とるてはすまし行ハるんてるうさて後の弁を口すれ
行へうり又いあくしきとハて年ハりハの弁ハ源（仁明）家みりく
れ行つる時るある弁るれ禁ホよていつるれあ何

久重
時しあれかりし柏木ハ
弁 校るれ
和 泣るし

校るれ寵さくら
柏木と二人ノ人相るし

ちとるるれ
久重のるみるつるとるくるるるるるのよし

六乃春柳のふそをハぬくとられる姿の中くらとなれて
河海みとりの糸をうけるく白髪をとゞめぬ春の柳の
私今一首畏る称ふ
必小畏不ゝ可ゝ めよそとハ目に涙をせきあり 弄
姿のもゝ来とハ六乃涙ハうてゝ次とし
いとゝ多くもくうとあり
必昔更衣の中ハ小さきことるね人乃ハ出て也 弄
しゝ
ちゞの乃ゝ
久雪の一条のえゝ
御いぞ乃
なゝ

出羽 如つ孫の徴く 弄

越歌少人ゝ射面しあり
ん久雪をとハらん
乃やのけゝもしげよ
れ子のまる

行げる勝し
親喪よりか

親乃孝よりゝ
弄
河 孝徳ゝ孝子ゝ喪釈ゝ 又母没斬衰吾憂 哭弔侯礼已容
斬表 其声若往而不反 謂ゝ喪親也
容儀所以主化長也
親ノ喪ヨリカ
ヨ後お遠の顔ヨやつ
ゝ条ゝのゝ条
ゝれゝ
るはゝやつ
ゝゝ

孝経 錬音也喪事質素先

射面のゝ大抵ゝ
母ゝの孝養の時ゝ

久雪の殺仕をみゝ
御中ゝ

殺仕ノハ 久雪柏木ハ中ゝ
一条のえゝ

夕雲のうちのまへ
新のたりくまとるまま
後のうぬとつつ
うんうつ
御息所ノ位ニテ
なりうるうんうう
常ハうりうよ和氣ある人とみしう
ぬハねくとあるまつの
殺仕のるうまうまつ
えうめし
後ととうへやぬ新し
芸の御うう芸の
必殺仕大臣の羽　養上のまし母
とあるうもうまも
女ハかりてへ生ぬ拘るれまよれて弓むぬまし
けくくうう移と

弄
柏木乃まとと
ぬうう位よつうくあいぬのむ人く
秘　[弘官位ノ位ニテ]
柏木弄後ノ羽ノ位し仍減う
秘　[しまの小義]
息ハ柏木ハ犯柄ら人の息なれ宿位ノ位ニ受けて人お
かく犯養をうのむ　柏同ノ家礼の家とて生うる
ハうのまし
おとうるうう行うる
柏とうのう人の母さ後
うりうおしそ
弄
柏木ノまとふく欲くお宿位ノ母何よもう後犯
まうくうらうるうし　と思まとし
つうくる
秘
我ハ官位まとハ思まし
宿とあうさてなあまし
弄
柏大宿まうるうき人れかうみハ拘ノ母とるまあら
行ノ行ノ行ノ用く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

在地願為連理枝　長恨歌

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

うちつけるふしぶしの紫

因 世にしられぬ御方の風流なるなれば深さまし

紅紫ふかき非ゆゑ　あるときとるとふけるく旅寝

とうちつけるうといなるべしかの君のうたふ

初し恋紫こそ忘れしこそ高山巻のめいし

うき世中と

必 巻不ノ初

なれしくくて

いつもいつもみて月ゆとを遠るとうしとし

かもかもなけくハ

必 夕雲ノ初

ちかけのまさるへよ、え

必 いつるるけきもちあるあるとし

さ涙ゆかたちある

紅葉ちるあるせいつくさとたのて

なけきさまはけなかりんとはなりてさんとりてさんすりとのとろうや芝居

正のうめんさしいちう

花 夕雲のかりまるり

必 夕雲のんし

寄 女こそのまとゆ夕雲ノ初ふるりいてかれるとしいさく張

ひしまし

あるれをいよ人けるりんるるとし

必 中そうるるきとし

因 夕雲ノ中三度紫ノ初とかりしいやし

かるてまるも

必 女こそりもかるちハりる強りんとし

なるてみるめよりう人可しるあき又さるまし人とて

まとハ涙ちそさ海ゆ　中

花 みるあかしの不思ちるようりてんとあるまま

しきし今せそなてあれく又さるまきさとハ恋

るめとそ夜ちるハふるなんとまと今まあ

まきしちるとうねとう海ゆやといつり

世間の人といつてみなあとんとせとの二せはこるべかりけるを
なるべきなれば　さはあれどもやとふるくのみといつてさ
はあれしうとし
和花者家いとしんはるをかあるこはのようにて
人とこるあくしとしてとし又さらもしなとの
しあるをとのこもわるまりきとみるあるとてんをまと
なんもさはあるきこうしひとてのをへんをせ所安な
ものと久寿ものとし　山家の行
いまハれむしし
寄山路ハ寄庭ひのをへ
関むしるとへ柏木うるすへるとし
なけるしるれ
寄しけそうるきし
河史しけたるき姿し
かれるしハ　関柏木し
源氏のとを　寄源氏
今業柏木、かの歌といとんしあなり

ゆるしてほとみるに是ハ柏木まるに陽
は院の女房ハ源をみるまるハるまりきし
るつ柏木るるし　花院のとのるとと
ハるしう　寄久寿　関氏の歌
寄久寿
やるるりしう愛敬つるるし
これハれしうハかやうるよりやるよ和氣のあるれし
かれしうハかやうるも
落坂文と久寿とるるへてるるくくのるるし
いしやうぐんつるるの寄庭庭の寄の氣久をとるるし後は旬時平安
寄南庭庭の寄の氣久をとるるし後は旬時平安
るくの男保史のまくくるるるるるし
て吟し後とを見はる　保史まるを大石軍幕下しるるしと
とハ石軍と寄る羽林大石軍と作る大石磨若
又七郎の書ノ唐久と金吾石軍といつるるまるいるし
花七郎の書をし唐久と金吾石軍といハ大石軍と
るよ石遠るるる

草初秋とあるを吟じて猛人の感を催すやうなり
あるを常山の詩にもあるなり
ふし柏木は金吾の軍に敗れ給ひ
天興善人吾不信右将軍墓草初秋　紀在昌
右大将保忠卿と俗に称す　時平卿の孫　母は宣旨の女
詩に
草初秋の字を用ひ秋と書くと今あるを誤りて青と誦せるなり
甚しき僻事なり和月の比なれば秋の字を用ひ季節を
違へ青の字を用ふるは和歌のみにて漢詩にはなし
の京氣を注して頭注遊ぶ
ひとりとしてこれ砂のごとくなるものなかれ
ものすきものかなくのかはは
よみあれば京大阪にて撰の和漢朗詠に清森柏柳深
槐春色色蔵清花臨懐字秋有秋好とあるを
京信通昌文賦の中の一句賦は東韻の列
有時風と有と色と風兼対よりしもるるや故字
よれかへられり色故の対とはやうに風のなびきて異

あるをしいひてくるしけれども
しらずしてもとの字を誦し
のを通のあるをれとも実は花のまゝ多し中比
放逸癖にて第りて出遊あり
学るをもとしあるを
やせさせんと
るをめとれ
もるとの人感
八首為京治故事容
僧とせれ
ずして勝計
それしてしらず世乃
義平六年のあるれ
手紙勅　大納言正三位陸奥出羽按察使兼行右近衛
大将藤原朝臣保実義平六年七月十四日薨年十七号八

條大將時平ニ一男本朝鳳笙元祖始ル
保実ハ物語ノ時代ニ[illegible]
[illegible]
世人ト[illegible]
[illegible]保実[illegible]
[illegible]特シ又若菜下ニ右大將ノ病[illegible]
[illegible]其ハ[illegible]
[illegible]保実[illegible]
[illegible]ハ今古[illegible]

[illegible]
[illegible]ハ[illegible]
[illegible]ハ藝能ノ[illegible]因[illegible]
[illegible]

[illegible]
必今上ノ御琴ノ師シ
等今上ノ御事　柏木ハ今上ノ御琴ノ師シ
[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]ハ大[illegible]ノ世ヨリ[illegible]又女三ノ御事[illegible]
[illegible]
[illegible]
必[illegible]
[illegible]井[illegible]
必御ノ[illegible]ト[illegible]因[illegible]